

施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実

(基本施策) (2) 安心して産み育てられる環境づくりの推進

(評価担当者)

健康福祉部長

古田 秀樹

基本施策が目指す姿

子育て世帯が、周りに支えられながら、安心して子どもを育てています。

関連する分野別計画

亀山市子ども・子育て支援事業計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	出生数	人	455	H27	371	411	343			465
2	子育て支援センター利用者数	人	34,932	H27	35,224	33,638	29,639			37,000
3	低年齢児(3歳未満児)の待機児童数	人	6	H28	3	6	15			0
4										
5										

市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	子育ての相談、保育等が充実して利用しやすい	重要度	1.32	1.26	重要度については2項目とも前回調査より下がっているものの、満足度については大きく上がっており、それぞれの平均値(重要度1.10、満足度-0.18)からすると、相対的に重要度も満足度も高い状況である。これは、子育ての相談体制の充実や待機児童対策、また新たに設置した「子育て世代包括支援センター」による妊娠前から幼児期までの切れ目のない育児支援等の効果の一端が現れたものと考えられる。
		満足度	0.05	0.11	
2	地域の見守りの中で、子どもを健やかに育てられる環境が整っている	重要度	1.40	1.34	
		満足度	0.13	0.19	
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	<p>子育て世代包括支援センターを中心とした切れ目のない子育て支援体制の充実や未就学児の医療費の窓口無料化、また、必要な保育サービスの提供と放課後児童クラブの受け入れ充実等による仕事と子育てが両立できる環境や子どもの居場所づくり、悩み等の相談に対してワンストップで的確に対応することや地域小規模児童養護施設の誘致等子育てが孤立しない環境づくりに成果を上げている。さらに、幼児教育・保育の無償化も特に混乱もなくスムーズに対応できた。</p> <p>一方、就学前施設の待機児童が発生していることや、認定こども園整備事業では課題対応が求められること等全体の進捗状況を勘案し総合判定をBとした。</p>
反省点・課題	
<p>近年の女性の社会進出や共働き家庭の増加に加え幼児教育・保育の無償化等により保育ニーズが高まり、低年齢児(0歳～2歳)の待機児童が発生しており、小規模保育事業施設や待機児童館を活用してはいるものの解消していない。また、放課後児童クラブについても、利用率の高まりから大規模校を中心に飽和状態の校区がある。いずれも、中長期的計画的な対応が求められる。</p> <p>一方、児童虐待防止や発達支援等を担う子ども総合相談や子育て支援センターを中心とした子育て講座、親同士の情報交換等様々な支援策の継続・強化が求められるとともに、こうした情報を効果的・効率的に届けるため情報発信・PRを強化していく必要がある。</p>	

今後の展開方針

<p>新たな認定こども園については地域課題を踏まえた対応を図りつつ、中長期的な視点での就学前教育・保育施設全体の再編・整備の方針を示していく。また、放課後児童クラブについては、利用ニーズを適切に把握し、長期休暇対応を含め民間の力も活用しながら待機児童を発生させないよう受入機能を確保していく。</p> <p>一方、児童虐待防止や発達等に係る相談においては、専門スタッフによる保健・福祉・医療・教育のネットワークを生かした総合相談を進めるとともに、子育て支援センターでの様々な取り組みにより子育てが孤立しない環境づくりに繋げていく。</p>

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		健やかに産み育てられるための支援の充実					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	昨年年度に引き続き、未就学児を対象とした福祉医療費助成の窓口無料化を実施した。		医療費の窓口無料化による経済的負担の軽減ができた。			
		子育て世代包括支援事業では、母子健康手帳交付時に専門職が面談を行い、子育てプランを作成するとともに、関係部署と連携し支援を行った。また、県助産師会鈴鹿分会に窓口・相談・訪問業務を委託し、妊産婦に対する相談体制の充実を図った。		妊娠・出産・子育てに関しての不安や悩みを気軽に相談できる窓口として、常に寄り添い信頼関係を築くことにより、安心して産み育てられるための支援を進めている。			
まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
		17083	福祉医療費助成事業(子ども)	主	203,690 / 189,086	A	A
		17085	不妊・不育症治療費助成事業	主	6,000 / 4,757	A	A
		17086	かめやまげんきっこ育成事業	主	1,480 / 1,331	B	B
		18003	子育て世代包括支援事業	主	73,833 / 64,629	A	B
		3049	児童手当給付事業(出生祝金)	標	1,800 / 1,800	A	A
		3037	一般事業(児童福祉一般事業)	標	9,047 / 9,047	A	A
		3009-3	地域団体支援事業(母子寡婦福祉会)	標	328 / 328	A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果
	幼児教育・保育の無償化実施(R1.10～)					A	A
	養育医療給付事業					A	A

施策の方向		就学前教育・保育施設の再編・整備					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	就学前教育・保育施設の再編については、第2期子ども・子育て支援事業計画を策定し、今後のニーズ推計に基づく必要な提供量の整理を行った。		認定こども園整備事業については、地域の求める課題への対応が難しく、引き続き時間をかけた対応が必要となっている。			
		また、認定こども園整備事業については、地域との協議が難航しており、具体的な進展が見込めない状況となっている。		一方、市域全体のニーズへの対応については、大きな方針を定めたことで、今後の事業化に向けた準備が整いつつある。			
まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
					/		
事業以外の取組	内容					活動	成果
	第2期亀山市子ども・子育て支援事業計画の策定					A	A

施策の方向		子育てが孤立しない環境づくり					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	子ども総合相談では、実人数746人延べ1,993件に対応した。相談では、保護者や学校の先生も同席し、子どもの状態や特徴を共通理解のうえ、関係者と連携しながら支援を行った。		子ども総合相談では、心理・教育・保育等の専門スタッフが相談を受け、保健・福祉・医療・教育等の関係機関と連携し対応することで、丁寧で適切な支援ができています。			
		一方、官民の子育て支援センターでは、各種イベントの開催や悩み相談等の支援に取り組むとともに、情報発信ツールとしてLINEの活用を準備した。		一方、子育て支援センターでの様々な取組により、親同士の交流や情報共有等が図られ、子育てが孤立しない環境づくりに繋がっている。			
順調に進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
		3176	児童家庭支援事業	標	11,747 / 11,092	A	A
		3180	療育相談事業	標	3,939 / 3,639	A	A
		3132	要保護児童対策事業	標	172 / 147	A	A
		3115	児童短期入所生活援助事業	標	248 / 157	A	A
		3084	地域子育て支援センター費	標	31,270 / 31,270	A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果
	「そして、親となるまち」プロジェクトによる「かめやま赤ちゃん駅」の取組拡大とLINEを活用した子育て情報発信					A	A

施策の方向		仕事と子育てが両立できる環境づくり					
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	就学前児童には保育所、認定こども園、待機児童館等において、必要な保育サービスの提供に努めた。また、放課後児童クラブにおいては、新たに南小学校区・川崎小学校区において、受け皿の拡大を図るとともに新型コロナに伴う受入れ対応に協力頂いた。一方、会員組織で一時的預かるファミリーサポートセンター事業等により、きめ細かな支援を行った。	評価	就学前の保育所等において待機児童は減少傾向にあったが、令和2年度から小規模保育事業施設の利用定員の減少があり、受入規模が減少した。一方、放課後児童クラブについては待機児童の発生しない体制を確保できた。また、ファミリーサポート事業を活用したサービスにより、細やかな子育て支援ができています。			
まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果	
	17088	放課後子ども教室推進事業	主	14,992 / 14,531	A	A	
	17089	長期休暇子どもの居場所事業	主	4,579 / 4,543	B	B	
	17090	放課後児童クラブ事業	主	183,800 / 164,258	A	A	
	3129	障がい児支援事業	標	56,359 / 47,172	A	A	
	3159	ファミリーサポートセンター事業	標	5,416 / 5,416	A	A	
	3042	民間保育所補助費	標	13,625 / 12,993	A	A	
	3179	施設管理費(待機児童館費)	標	42,092 / 41,532	A	A	
3053	施設整備費(保育所費)	標	9,430 / 9,216	A	A		
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		出会い・結婚から定住への支援					
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	男女の出会いの機会づくりを支援するため、地域資源を活用した婚活イベントを年2回開催した。また、シティプロモーション専用サイトにおいて、移住定住に関連する地域情報の発信をはじめ、フリックサポーターによる市の紹介、特集動画の制作等に取り組むとともに、子育て世帯のサイト利用を促進するためのPRを行った。子育て世帯の戸建て住宅の取得11件に対し、補助金を交付した。	評価	出会いや結婚を希望する人に機会の提供を行うとともに、シティプロモーション専用サイトを通じて継続的に子育て環境の良さなど住み良さをPRすることに加え、子育て世帯に重点をおいた住宅取得支援を行うことで、子育て世帯の移住・定住に繋げることができている。			
まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果	
	17091	婚活支援事業	主	1,700 / 1,398	B	B	
	17100	シティプロモーション推進事業	主	2,857 / 2,321	B	B	
	19002	住宅取得支援事業	主	3,750 / 3,750	A	A	
事業以外の取組	内容					活動	成果